

(7) 芸道（能、俳句、短歌、刺繍、押絵） *図録では歌仙図および歌額の絵画部分

芸道に通じた人物（小野道風、六歌仙など）の絵馬のほか、能舞や謡曲、俳句、短歌などの連名奉納額にはその地域の特色が伺える。このほかに技量の上達を願い、または感謝の意味で自作の押絵、刺繍、書画、歌額、句額などが数多くみられる。



169 六歌仙図 (H15) 福島・日吉神社 明治36年(1903) (55×83)

歌仙図は他にもあるが六歌仙がそろっているものは少ない。



170 歌額「瀬を早み…」 大成八幡神社 天保6年(1835)

江戸期の古い歌額である。個人の歌額は他にも多く奉納されている。

171 小野道風

山口春日神社 大正15年(1926)

小野道風は平安中期の書家(894～966)。

柳の枝に跳びつくカエルを見て発奮。
書の上達を願う絵馬。



172 即位記念歌額(部分)

宮竹・日吉神社 大正4年(1915)
(90×220)

大正天皇の即位記念の歌額である。

173 高砂

石子・八幡神社 年代不詳 (50×65)

めでたい能舞の吉祥絵馬である。

